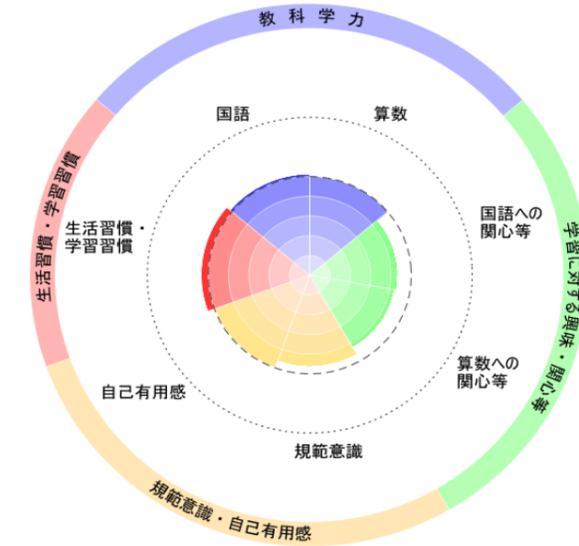


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
国語	○言語、漢字など基礎的な内容が定着している。 ○無回答率が低い。 ○国語の学習への関心・意欲・態度が高い。 ●書くことの内容が全国より低い。 ●問題文を読む力に課題がある児童がいる。 ●学力差があり、困難な子は問題文を読むだけでも苦勞していた。	・国語の授業の中で様々なジャンルの本を読み、情報活用能力を育成する読書指導を行う。 ・書く力を高めるために、授業の振り返りなどで自分の考えを書く活動を取り入れていく。 ・児童が自分の考えをもてるような授業改善を行っていく。
算数	○数量や図形についての技能は比較的できている。 ○計算のきまりがわかり、単純な計算はできる。 ●式や公式の意味を理解することが苦手である。 ●学習したことを一般化したり、工夫して計算をすることが苦手である。 ●文章題の内容を整理したり、重要なポイントを押さえることが苦手である。	・公式を記憶するだけでなく、その公式ができた過程をフィードバックする学習を取り入れる。 ・友達の考えを聞く活動を大切に、友達が言いたいことを正確に理解したり、自分の考えとどう結びついているかを考えながら聞く力を高める。 ・正しく計算することだけでなく、工夫して計算する課題に取り組む。

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



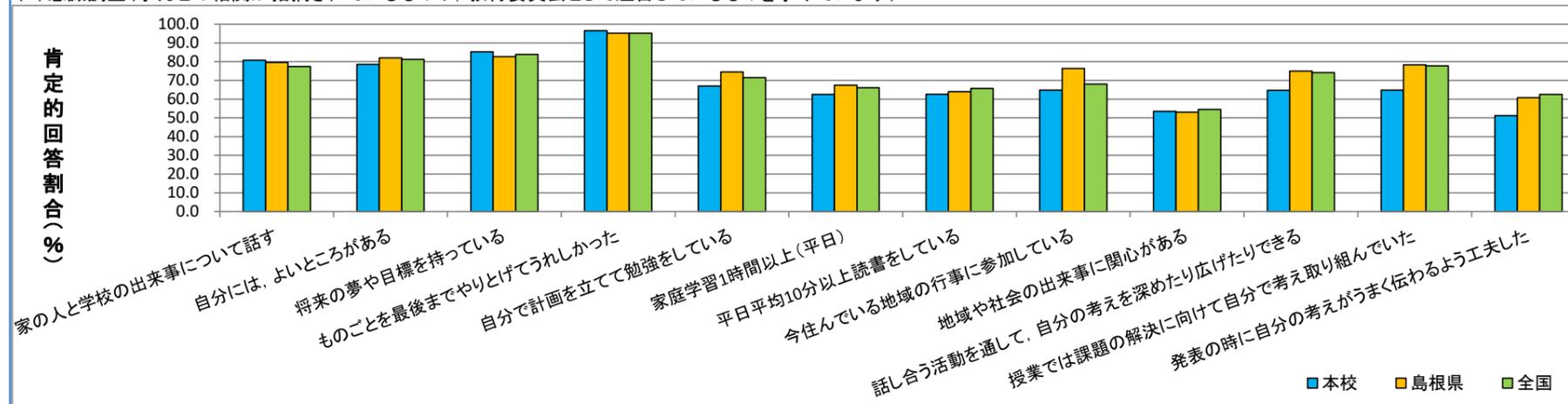
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
	○朝食を食べる、決まった時間に寝る起きる等、基本的な生活環境が整い、学習を支える生活基盤が安定している。 ○生活の中で最後までやり遂げる達成感を味わう、将来の夢や目標をもつ等、個々に自分の将来を見据え、活動に一生懸命取り組んでいる。 ●集団の中で自分の意見を言う、話し合いを通してより良い方向を考える等、友達と関わりながら協力して物事を進めることが難しい。 ●学習時間や読書する、新聞を読む習慣が二極化傾向にある。	・話し合う集団を小さくし、ペアやグループで自分の考えを話す活動を積極的に設ける。集団で話し合ったり、協力して活動したりする良さを味わえる場や内容を設定することで、集団としての活動の充実を図る。 ・学年にふさわしい読書の質や時間を吟味しながら、意図的に読書活動を進めることで、読書活動の推進を図る。

(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

<ul style="list-style-type: none"> ・読書時間を確保する。 ・読解力、漢字で表す力を普段から身につける。 ・既習事項をくり返し学習する機会を設けたり、復習問題を実施する。 ・日常的に考えを書く、話す、聞く機会を充実する。

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本校	松江市	島根県	全国
国語	65	63	62	63.8
算数	66	66	65	66.6

受検者数 85人
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示して下さい。